

私たちの美しい国へ

「少し休みましょう。放射能汚染のことを夢中でか。ジャカイ毛畑の草を学んだ。周辺地域でのがんむする若者に菊川慶子さんや白血病の報告、海産物や農産物、人体への蓄積。再処理工場によつては、一六ヶ所村。人口約一万二千日で原発一年分の放射能が人の小さな村に広大な工場放出される。指摘されてい

話題の発掘

菊川慶子さん 青森・六ヶ所村「花とハーブの里」代表

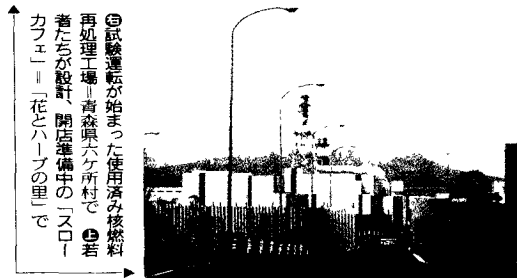


1948(昭和23)年、青森県生まれ。脱原発依存の村を目指す「花とハーブの里」を今年3月に法人化、カフェ経営、ワークショップで雇用増を図る。

古里への想い

原発反対貫く

民も工場で働くようになった。反対が激しかった泊漁港でさえ、イカリ釣り船の機械化で職を失った漁師たちは再処理工場関連施設に職を求められなかった。人々



①試験運転が始まった使用済み核燃料再処理工場。青森県六ヶ所村で。②若者たちが設計、開店準備中の「スロウカフェ」。「花とハーブの里」で。

「少し休みましょう。放射能汚染のことを夢中でか。ジャカイ毛畑の草を学んだ。周辺地域でのがんむする若者に菊川慶子さんや白血病の報告、海産物や農産物、人体への蓄積。再処理工場によつては、一六ヶ所村。人口約一万二千日で原発一年分の放射能が人の小さな村に広大な工場放出される。指摘されてい

「村は貧しかった。職を求め「放射能が安全に管理されている」と関連施設で働く人、何も言えなかった。地場産業が必要だと感じた。核能に頼らない、働け場所をつくらなければ

再処理工場は昨年三月三十一日、最終的な試験運転に入り、放射性物質が煙突と「沖合」の海底から排出されている。日本原燃は今年十一月の本格稼働を目指して着々と作業を進める。本格稼働後は年間約六〇〇三の使用済み核燃料を再処理。クリプトン85やトリチウムなど放射性物質が排出される。日本原燃は、周辺環境や人が影響を受ける放射線量は年間約〇・〇三

「私たちが「美しい国へ」は今回で終わります。」「(敬称略)片山夏子

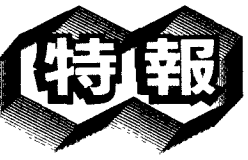
「私たちが「美しい国へ」は今回で終わります。」「(敬称略)片山夏子

「私たちが「美しい国へ」は今回で終わります。」「(敬称略)片山夏子

「私たちが「美しい国へ」は今回で終わります。」「(敬称略)片山夏子

「私たちが「美しい国へ」は今回で終わります。」「(敬称略)片山夏子

「ニューズの追跡



記録映画で広がる輪 若者らと訴え

「私たちが「美しい国へ」は今回で終わります。」「(敬称略)片山夏子

「私たちが「美しい国へ」は今回で終わります。」「(敬称略)片山夏子

「私たちが「美しい国へ」は今回で終わります。」「(敬称略)片山夏子